

土木系工事の最低制限価格の設定方法及び計算例

【最低制限価格の設定方法について】

1 最低制限価格制度における最低制限価格の設定方法 (5,000万円未満の工事が対象)

$$\text{最低制限価格(税抜)} = [(\text{平均入札額(税抜)} + \text{予定価格(税抜)} \times 2) / 3 \times 0.93]$$

平均入札額(税抜)は、予定価格(税抜)の制限の範囲内で有効な入札を行った全ての入札書を対象に算出する。ただし、予定価格(税抜)の88%未満の入札者は、予定価格(税抜)の88%とみなして算出する。

(注意)

- (1) 予定価格(税抜)の88%に千円未満の端数が生じた場合は、千円未満を切り捨てる。
- (2) 最低制限価格(税抜)に一円未満の端数が生じた場合は、一元未満を切り捨てる。

【計算例】 予定価格(税抜) 12,000,000円

(単位：円)

	入札額(税抜)	平均入札額算出時の額	結 果
A社	11,299,994	11,299,994	
B社	11,099,994	11,099,994	
C社	10,899,994	10,899,994	落札
D社	10,799,994	10,799,994	失格(10,799,994 < 10,816,931)
E社	10,699,994	10,699,994	失格(10,699,994 < 10,816,931)
F社	10,000,000 ☆	→10,560,000(みなし)	失格(10,000,000 < 10,816,931)
合 計		65,359,970	
平均入札額(税抜)		$65,359,970 \div 6 = 10,893,328.333\dots$	
最低制限価格(税抜)		$= (10,893,328.333\dots + 12,000,000 \times 2) / 3 \times 0.93 = 10,816,931.783\dots$ $= 10,816,931$	

※ ☆は予定価格の88% (12,000,000 × 0.88 = 10,560,000) 未満の入札額